

水神社と「おのつとう」（大立野）

水神社の創立年代は、不詳ですが、寛文十年

（一六七〇年）に再建の記録があります。

祭神は、「
」

私たちの生活において水の果たす役割は極めて多様なために、水神信仰もかなり複雑な様相を呈しています。

水神社には、「おのつとう」という行事がありました。昔は六月三十日「大祓いの日」に、後には七月の第一日曜日に行われました。昔から夏は疫病が発生しやすい季節で、手に負えない疫病を神に祈ることとで免れようとしたのでしょう。神殿で先達が唱え
やおおろず
る八百万の神々の名を、神前に集まった人々も唱和し、神々の力を授けてもらおうとしました。